

“子どもとお年寄りを大切に”（首相）というなら

先送りではなく  
ただちに

後期高齢者医療制度の廃止を



最優先の公約にかかげていたはずの後期高齢者医療制度の廃止は先送り、自公政権もやらなかった保育所の最低基準の引き下げはすすめる—鳩山政権の2つの大問題について、日本共産党の小池参院議員は、9日の参院予算委員会で正面からたたきました。

## 日本共産党

# 小池あきら参院議員が 新政権にたたかす

野党時代は、日本共産党といつしよに「廃止法案」を参院で可決・成立させたはずなのに—。

民主党は、政権についたとたんに、「新しい制度ができるまではなくさない」と方針転換。「やめるには時間がかかる」と厚労省うけうりの説明をする長妻大臣に、「役人に『2年かかる』といわれて、簡単に引き下がったのか」と小池議員がせまると、議

場がどよめきました。

この制度をつづけければ、あらたに後期高齢者となる人がふえ、保険料が来年4月に値上げされるなど、被害はひろがるばかりです。

小池議員は、「冷たい政治の象徴のようなこの制度は、いままじく廃止を」と強くもとめました。

### 待機児童解消へ、 保育所の増設を

小池議員は、「去年、全国で増設された保育所はたった16カ所。待機児童の解消は、つめこみではなく、保育所をふやすことです。すすめるべきだ」とせまりました。



「後期高齢者医療制度  
“変節”民主 苦しい弁明  
廃止で共闘した共産が追及  
歯切れ悪い首相・厚労相」  
(「東京」10日付)

保育園児を  
ギューギューづめに

保育所基準の後退中止を

お昼寝のときに寝返りがうてないほど狭いのが、いまの保育園の実態です。ところが鳩山政権は、待機児童の解消を理由にもっと子どもをつめこめるように、保育所面積の最低基準をゆるめようとしています。  
子どもに犠牲をおしつけるやり方では、安心して保育所に預けられません。

購読  
申込書

○ 印をおつけください

● 日刊 月2900円 ● 日曜版 月800円

お名前

住所 〒

しん  
ぶん 赤旗

2009年11月号外  
(1952年5月30日 第三種郵便物認可)

発行●日本共産党中央委員会

〒151-8586 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-26-7

TEL 03-3403-6111 FAX 03-5474-8358